

Makuhari's Memory

海浜幕張駅前で食べた寿司の味は忘れません!

令和6年1月22日～26日の5日間で「行政のデジタル化の推進」が開講され、日本全国で取り組んでいるデジタルトランスフォーメーションの推進に課題を感じている56名が全国から集まりました。

私は令和元年に初めての人事異動で紙文化が残る福祉課から情報主管課へ異動となり、様々なギャップを感じながら日々の業務にあたっています。令和4年度に機構改革によりDX推進課へ課名が変わり、DXの波は押し寄せるが全庁的なDXはあまり進まず、もどかしさを感じていました。

参加するまでは、恥ずかしながらDXを推進する目的があいまいで、原課の職員に対しても明確な理由が示せていませんでした。各講義を受講することにより、今後来る少子高齢化社会による自治体職員の減少や地域課題の出現（2040年問題）に向けて今のうちからDXによってスマートな自治体を目指すことがわかりました。

DXの推進は未来のわが町や、子供たちの生活を豊かにすると思うと、一気に自分の使命感が強まりました。

課題演習班のメンバーは歳が近く、すぐに仲良くなれ終始和気あいあいとした雰囲気でした。取り上げるテーマや発表の方向性もすぐに決まり、スムーズに課題演習をすることができました。

最後になりましたが、1週間の研修に快く送り出してくださったDX推進課の皆様、講師の皆様、課題演習班の皆様、子供の面倒を見てくれていた妻に感謝申し上げます。

いつかまた一緒に寿司が食べれる日を楽しみにしています。



伊藤 伸志

愛知県東浦町
企画政策部DX推進課DX推進係主事
〈受講研修科目〉
行政のデジタル化の推進
第37期第2組（令和5年度）